

動物実験に関する自己点検・評価報告書

熊本保健科学大学

2025 年 8 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・熊本保健科学大学動物実験規則 ・熊本保健科学大学動物実験細則 ・熊本保健科学大学飼養保管施設運営部会内規
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（平成 18 年環境省告示第 88 号。以下「飼養保管基準」という。）、研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（平成 18 年 6 月文部科学省策定。以下「基本指針」という。）に則って熊本保健科学大学動物実験規則が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・熊本保健科学大学動物実験規則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則して、動物実験委員会が設置され、機能している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料 ・熊本保健科学大学動物実験規則 ・熊本保健科学大学動物実験細則（別表として、動物実験計画書、動物実験計画変更申請書、審査結果通知書、動物実験結果（終了・中止）報告書、動物実験中間報告書、飼養保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書、動物搬入・飼養保管施設使用申込書） ・熊本保健科学大学動物実験管理体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則した動物実験計画の立案、申請、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。動物実験責任者等の関係を示す組織体制図を更新した。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・熊本保健科学大学遺伝子組換え生物等使用安全管理規程 ・熊本保健科学大学遺伝子組換え生物等使用安全委員会規則 ・熊本保健科学大学病原体等安全取扱・管理規程 ・熊本保健科学大学バイオセーフティ管理規程（病原体等安全取扱い） ・熊本保健科学大学バイオセーフティ委員会規則 ・熊本保健科学大学無菌室エリア運用規則 ・感染動物実験マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則った規程等を適正に定めている。 遺伝子組換え実験に関しては、遺伝子組換え生物等使用安全委員会と動物実験委員会の両方で審査する体制をとっている（動物実験計画書には、関連する委員会での実験承認番号の記載を義務付けている）。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・熊本保健科学大学動物実験規則 ・熊本保健科学大学動物実験細則 ・熊本保健科学大学飼養保管施設運営部会内規 ・飼養保管施設設置承認申請書 ・実験室設置承認申請書 ・動物実験施設利用マニュアル（第4版） ・アルバイト心得 ・熊本保健科学大学動物実験等における緊急時対応マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 機関内規則、マニュアル等により、実験動物の飼養保管体制を適正に定めている。 地震、火災等の緊急時対応マニュアルを見直した。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・熊本保健科学大学動物実験規則 ・熊本保健科学大学動物実験細則 ・動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 機関内規則に基づき、学長の諮問機関として委員会を開催し、関連事項について審議した。 動物実験計画書の審査、実験の把握、また、飼養保管施設及び動物実験室の審査と承認後の施設の把握など、基本指針に則して適正に行われている。 自己点検・評価を適正に実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験計画書・報告書 ・動物実験計画書審査用紙 ・動物実験審査結果通知書 ・動物実験の自己点検票 ・動物実験発注・搬入記録 ・動物搬入・飼養保管施設使用申込書 ・動物実験結果（終了・中止）報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書を審査し、学長の承認を得ると共に、動物実験結果（終了・中止）報告書および動物実験の自己点検票等にもとづき動物実験の実施状況を把握した。
4) 改善の方針、達成予定時期

特になし

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。
- ☐ 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・動物実験計画書
- ・遺伝子組換え生物等使用実験計画書
- ・遺伝子組換え実験室設置申請書
- ・実験動物の授受に関する書類

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験は機関内規則に則り安全に実施している。

遺伝子組み換え動物を扱う実験室では、逃走に備え「ねずみ返し」を設置しており、法令に適合した P1A 動物施設であることを確認した。また、該当する実験について、事故等の報告はなかった。本学では、感染実験及び、有害化学物質や放射性物質の投与実験等の安全管理に注意を要する動物実験は実施していない。実施する場合は、安全管理に関する各種委員会の承認を得たうえで動物実験に関しての承認を行うシステムになっており、動物実験計画書には、関連する委員会での実験承認番号の記載を義務付けている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・動物実験施設利用マニュアル
- ・地震等災害発生時の対策マニュアル、利用者の災害対策マニュアル
- ・緊急連絡先掲示物
- ・微生物モニタリング記録
- ・アルバイト業務報告書（動物実験施設、2505 研究室）
- ・動物搬入搬出記録

・動物実験結果(終了・中止)報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物は適正に飼養保管されている。 本学では検疫及び隔離飼育は実施していないが、搬入する購入動物はすべて SPF（特定病原体不在/Specific-Pathogen-Free）であり、譲渡動物については、譲渡元に SPF 環境で飼育している健康な動物であることを証明書にて確認された動物のみを搬入している。 飼養保管施設入室時において、専用の白衣、グローブ、マスク、キャップを常備し、その着用を厳密に行うよう指導している。 定期的な微生物モニタリング検査を実施し、飼養保管施設の環境、微生物汚染の有無をモニターしている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・飼養保管施設設置承認申請書 ・飼養保管施設・実験室リスト ・飼養保管施設入退室記録簿 ・アルバイト業務報告書（動物実験施設、2505 研究室）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 温度・湿度等改善され常時モニターを行い記録している。 2505-5 室（飼養室）の温度・湿度については、パソコンにて常時モニターを行い、記録している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・令和 6(2024)年度教育訓練（e ラーニング）受講修了記録

・令和 6(2024)年度教育訓練受講者名簿 ・教育訓練資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 教育訓練の記録、受講者名簿から、実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に必要な教育訓練を適正に実施していることを確認した。 また、実験動物管理者等は、公私立大学実験動物施設協議会教育・研修委員会主催研修会「実験動物管理者のための教育訓練」を受講し、専門情報を習得した。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・熊本保健科学大学ホームページ（動物実験委員会） ・動物実験に関する自己点検・評価報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ホームページに「動物実験に関する自己点検・評価報告書」を公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし
